

吾妻山

火山活動評価：静穏な状況（レベル 1）

火山性地震は 7 月頃からやや多い状態が続いていますが、噴煙活動、地殻変動に特段の変化はなく火山活動は静穏に経過しました。

現在の火山活動度レベルは 1 です。平成 17 年 2 月 1 日の導入以降、レベル 1 が継続しています。

概況

・噴煙活動（図 2）

遠望観測（監視カメラ：大穴火口の東北東約 14km）では、大穴火口（一切経山南側山腹）の噴気の高さは 20m 以下で低調な状態が続いています。

・地震活動（図 3）

火山性地震は、7 月頃からやや多い状態が続いています。これらの地震の震源は、前回（2004 年）と同じ一切経山南東側の浅いところで発生しています。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動（図 4～7）

山体周辺で行っている GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

11 月 8 日～14 日に大穴・旧火口周辺部で行った GPS 繰り返し観測を実施しました。7 月頃からの地震回数の増加に伴い、大穴・旧火口付近の地下で収縮を示すこれまでの地殻変動（各観測点の地点間距離は縮まる変化）とは異なる変化が観測されました。

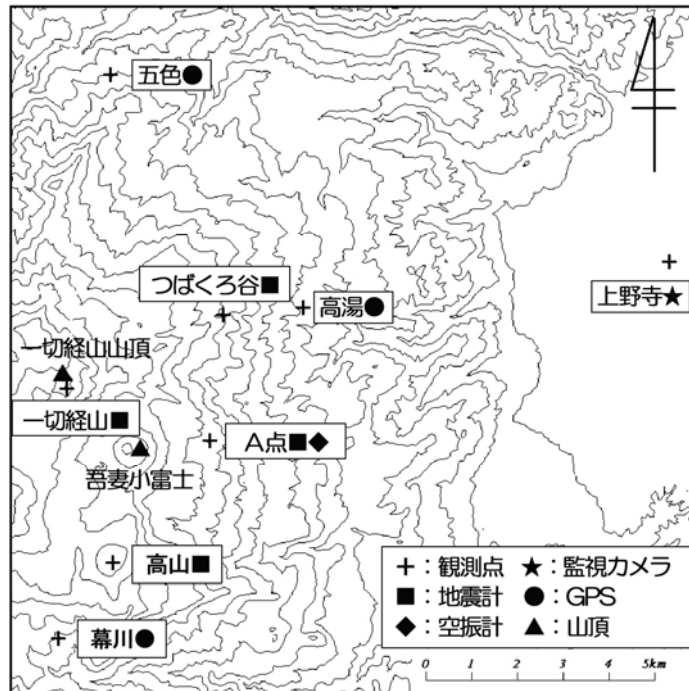


図 1 吾妻山 観測点配置図

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）

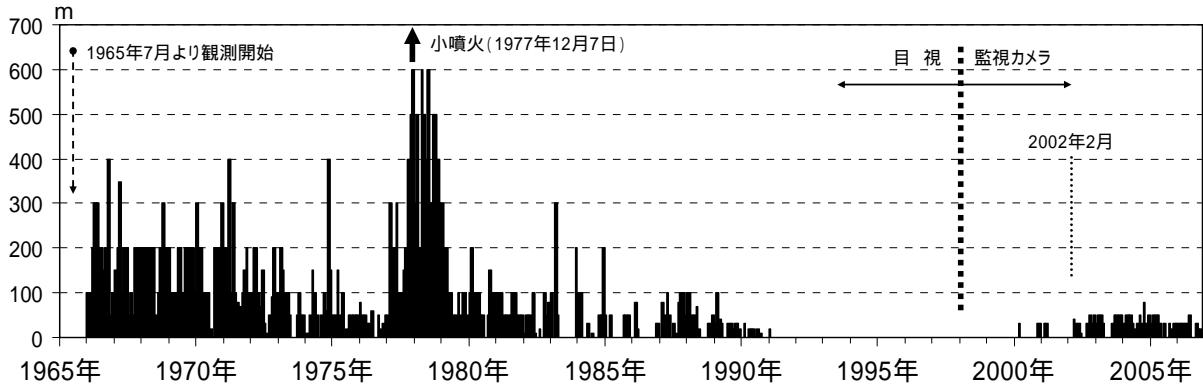
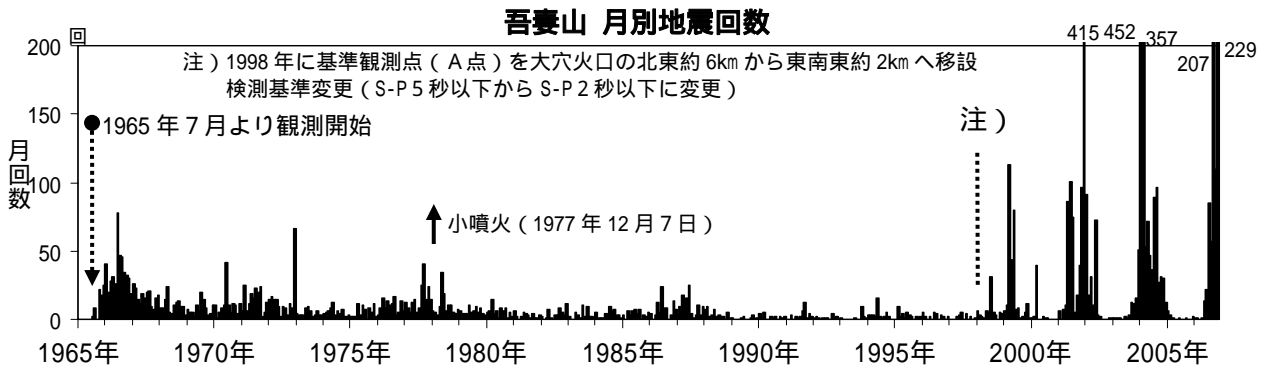


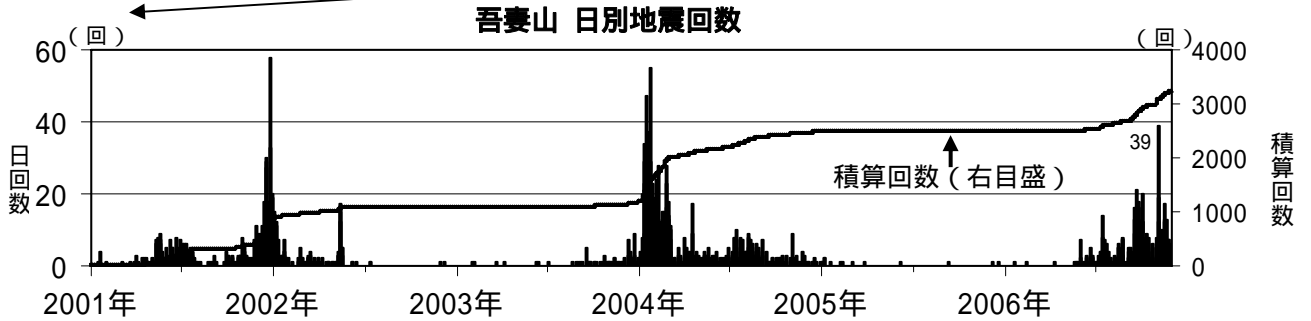
図2 吾妻山 月別最大噴気(噴煙)高(1965年7月~2006年11月)

1998年以前は福島地方気象台(大穴火口の東北東約20km)から目視観測
 1998年から監視カメラ(大穴火口の東北東約14km)による観測
 2002年2月以前は定時(09時,15時)及び随時観測による高さ。
 2002年2月以後は全ての時間を収録データから観測した高さ。

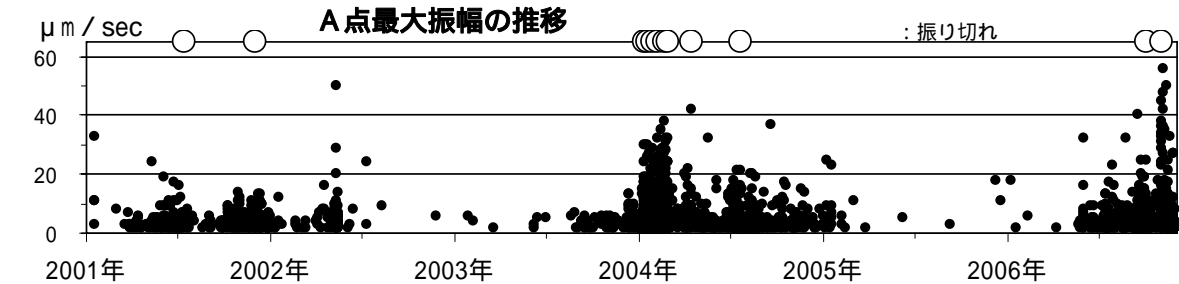


吾妻山 月別地震回数

注) 1998年に基準観測点(A点)を大穴火口の北東約6kmから東南東約2kmへ移設
 検測基準変更(S-P5秒以下からS-P2秒以下に変更)



吾妻山 日別地震回数



A点最大振幅の推移



吾妻山 日別微動回数

図3 吾妻山の地震回数および微動回数

月別地震回数 (1965年7月~2006年11月)
 日別地震回数 (2001年1月~2006年11月)
 A点最大振幅の推移 (2001年1月~2006年11月)
 日別微動回数 (2001年1月~2006年11月)

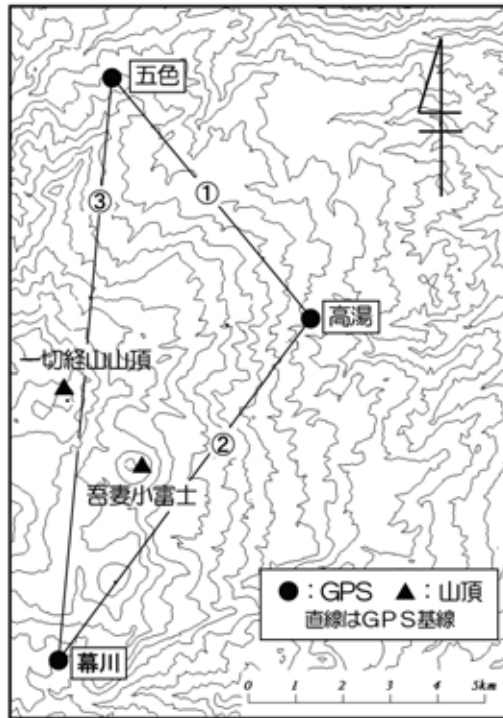


図4 吾妻山 GPS 観測点配置図

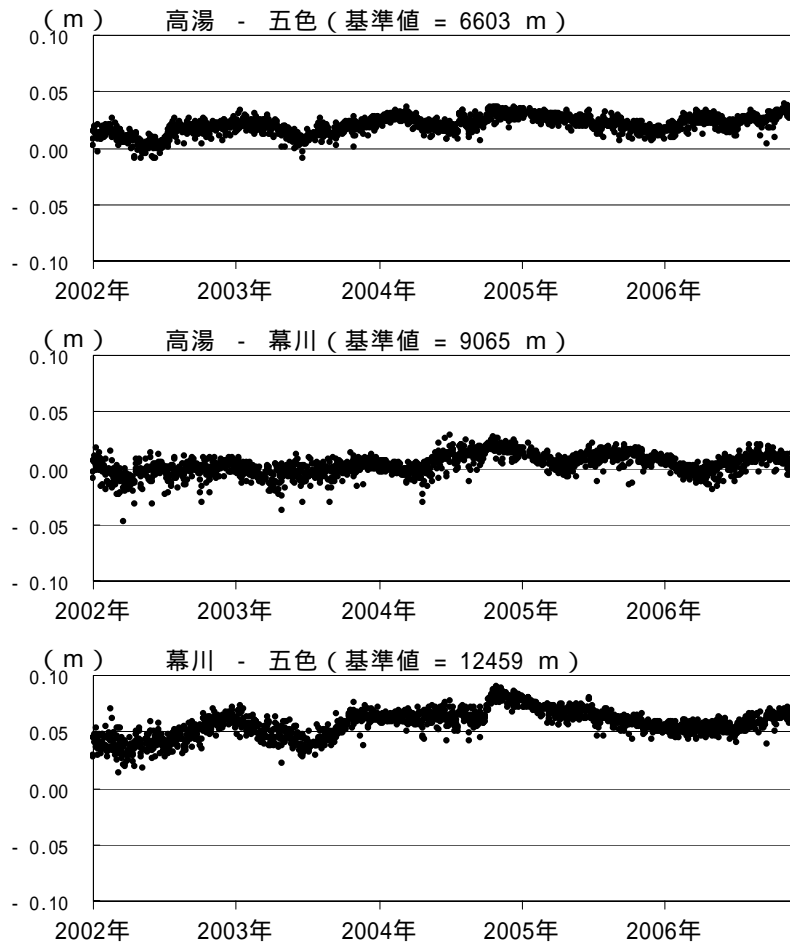


図5 吾妻山 GPS 基線長変化図 (2002 年 1 月 ~ 2006 年 11 月)



図6 吾妻山のGPS 繰り返し観測の各観測点および基線の位置

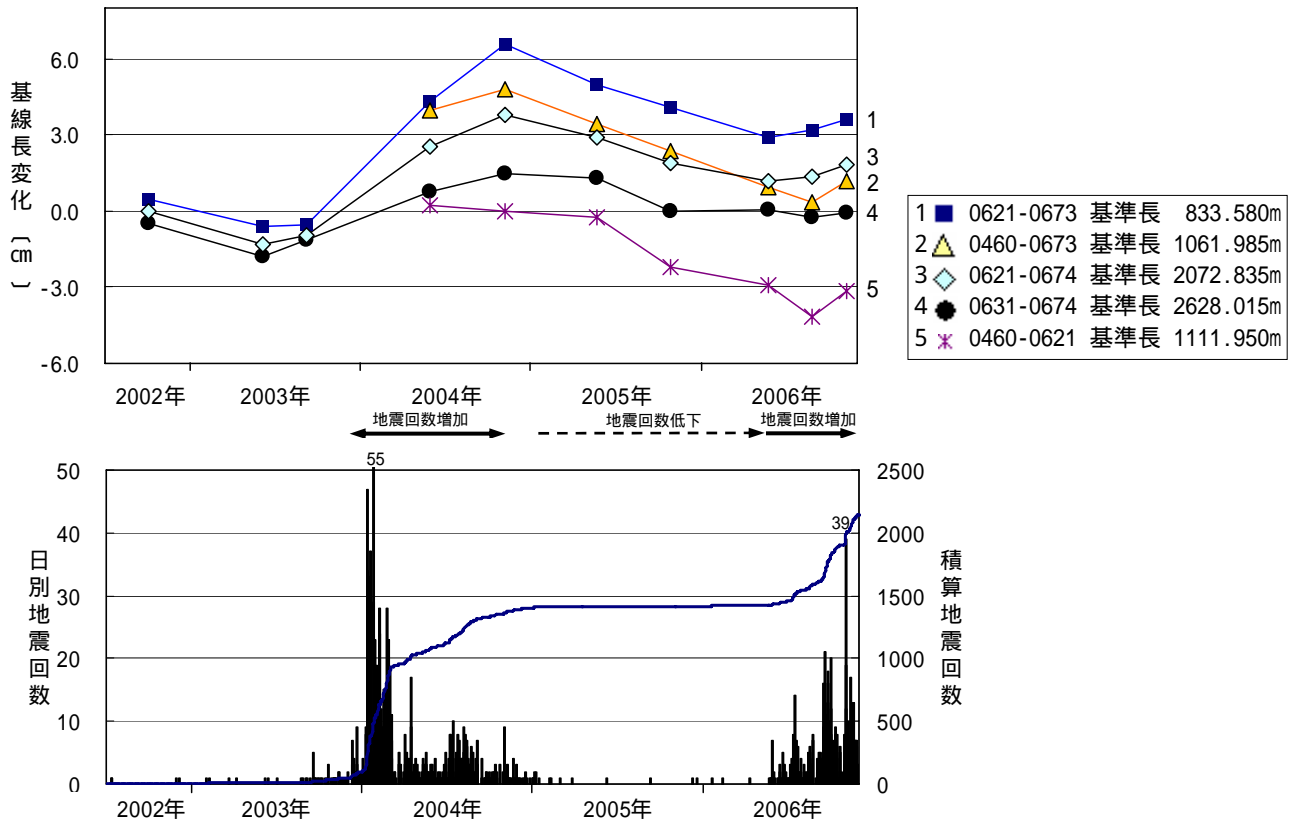


図7 吾妻山の日別地震回数及びGPS 繰り返し観測による各観測点間距離の変化図

大穴・旧火口付近では、地震回数が増加した2003年秋から2004年秋にかけて、各基線で地下の膨張を示す伸びの変化が観測されました。その後、各基線は収縮を示す変化が観測されていました。2006年7月頃からの地震回数の増加に伴い、大穴・旧火口付近の地下でこれまでの収縮とは異なる変化が観測されました。